

2026(令和8)年2月27日  
報道発表資料[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)  
広報担当:山本、儀三武

<ロームシアター京都 10周年記念事業>

観光 (仮題)

ワーク・イン・プロGRESS公演

2026年3月27日(金) 19:00  
ロームシアター京都 ノースホール

演出:野村真人  
出演:田辺泰信、田端奏衛、野島凜音、山西由乃

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:山本、儀三武  
電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366  
E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp

## ■レパートリーの創造 ホープス

### 京都発・若手注目演出家と世界を目指すプロジェクトが始動！

若手アーティスト、クリエイターと協働し、京都から世界へ才能を発信する新プロジェクト<レパートリーの創造 ホープス>を始動します。京都を拠点に活動する若手演出家 野村真人・西田悠哉の2名をアソシエイト・アーティストに迎え、それぞれ新作のクリエイションと旧作のリクリエイションを行います。

## ■野村真人新作 観光（仮題）ワーク・イン・プログレス

日時：2026年3月27日（金） 19:00

会場：ロームシアター京都 ノースホール

2026年秋に予定している京都公演に向けて、野村真人の新作『観光』（仮題）のワーク・イン・プログレスを公開いたします。近年、故郷や家族を主題として、個人の記憶／経験の聞き取りやフィールドワークから作品を創作している野村真人。本作では、現代において多くの課題と関心を集める「観光」を主題とした演劇作品を、わたしたちにとっては生活の場であり、同時に、世界有数の観光地でもある京都から発信します。今回のワーク・イン・プログレスでは、公募によって集まった出演者ととも、「観光」というテーマを掘り下げ、ひとつのシーンを作り上げることを目指します。試演後には約40分、意見交換会の時間がございますので、そちらも合わせて是非ご参加ください。

演出：野村真人

出演：田辺泰信、田端奏衛、野島凜音、山西由乃

## ■チケット料金

チケット料金：1,000円

※全席自由

※当日受付にてお支払いください。

公募観客：30名 ※先着順

## ■申し込み方法

申し込み方法：専用申込フォームおよびFAX（075-746-3366）にて受付

受付開始：2026年2月2日（月）10:00 **申し込み受付中！**

専用申込フォームはこちら



FAXでお申し込みされる方は、氏名、参加人数、ご連絡先（メールアドレス or 電話番号）をご記入ください。

## ■開催クレジット

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

企画制作:ロームシアター京都

助成:クリエイター支援基金



## ■ワーク・イン・プロGRESSに向けて(野村真人)

42km 以上を走るマラソンでは、心拍数を整えるには息を吸うことよりも吐くことの方が重要らしい。苦しくなってきたとき、息を吸って新しく酸素を取り込むよりも、何度か大きく息を吐いて溜まった二酸化炭素を排出した方が、結果的に安定して長い距離を走れるそうだ。誰から聞いたかも覚えていないけど、リハーサルの準備をしながら思い出した話の一つだ。新作も、旧作も、息の長い作品にしたいと思っている。作品の息が長くなると、そこにしかない喜びも生まれるからだ。それは、作品に関わるチームだけのものではなく、もちろん観客にとってのものでもある。そんな演劇にしようと思う。

## ■プロフィール

### 野村真人 | Masato Nomura

1991年生まれ。演出家。レトロニム\*のメンバー。京都を拠点に、2016年から演劇作品を劇場内外で制作・発表している。人・場所・環境の現実的な関係に演劇を引用し、アクチュアルなフィクションに再構築する。近年の作品に、精神科訪問看護と親子をモチーフにした『吉日再会』(2024)などの上演作品や、自身の家族の故郷である青森で行った墓参りを題材にした『そうか、おまえいまそこにいるのか』(2024)、高齢者デイサービス利用者との交流から生まれた『わからないのがいいでしょう?』(2024)などの展示作品がある。ロームシアター京都〈レパトリの創造 ホープス〉アソシエイト・アーティスト。2024年度ACY アーティスト・フェロー。利賀演劇人コンクール2018優秀演出家賞。2024年度文化庁新進芸術家海外研修制度により1年間ドイツ・ベルリンで研修。ポートフォリオサイト <https://masatonomura.jimdofree.com/>



Photo by shimizu kana

### \*レトロニム

瀬戸沙門(俳優)、武内もも(陶芸家・美術家)、野村真人(演出家)からなるコレクティブ。劇団速度(2016~2021)を前身に、集まり方を変えることで2022年からレトロニムとなる。観客や観客席といった、各メンバーの関心ごとをキーワードに集まり、フリーペーパーの団体誌「スーパーラックス」の発行や企画展のキュレーション、グループ展の開催やパフォーマンスの制作などを行っている。

WEBサイト <https://theatre-sokudo.jimdofree.com/about-1/>

## ■レパトリの創造 ホープス トークセッション動画

若手アーティスト、クリエイターと協働し、京都から世界へ才能を発信する新プロジェクト〈レパトリの創造 ホープス〉のアソシエイト・アーティストの野村真人・西田悠哉が、これまでの活動や作品、創作に対する姿勢などを語っています。

※以下、URL または QR コードからご覧いただけます。

<https://youtu.be/5lkApuz5wJo?si=PxpFS3fduj3usdd6>



## ■レパトリーの創造 ホープス 今後の予定

西田悠哉/劇団不労社 新作公演『暗黒の喜劇』

日程：10月上旬

会場：ロームシアター京都 ノースホール

野村真人『吉日再会』

日程：10月30日(金)～11月1日(日)

会場：ノースホール

野村真人 新作公演『観光』(仮題)

日程：11月6日(金)～11月8日(日)

会場：ノースホール



『吉日再会』撮影:レトロニム